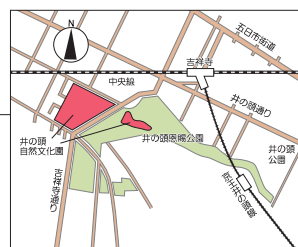


01

井の頭自然文化園

指定管理者 ■公益財団法人 東京動物園協会

- 所在地 武蔵野市、三鷹市
- 問合せ先 ☎0422-46-1100(9:30~17:00) 井の頭自然文化園(〒180-0005 武蔵野市御殿山1-17-6)
- 交通 JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺」下車 徒歩10分 ほかバス利用可 駐車場(160台・有料・8:00~19:00ほか)
- 休園日 毎週月曜日(月曜日が祝日にあたる時は、その翌日) 年末年始(12月29日~翌年1月1日)
- 入園時間 午前9時30分~午後4時(閉園午後5時)
- 入園料 一般400円、中学生150円、65歳以上200円 ※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料
- 無料公開日 開園記念日(5月17日)、みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)



武蔵野の面影を色濃く残す井の頭恩賜公園の豊かな緑の中にあり、公園西側の動物園(本園)と井の頭池に囲まれた水生動物園(分園)の2つの敷地に分かれています。日本産の動物を中心に、親しみやすい生き物を約160種飼育展示し、動物の展示の他に、彫刻園、童心居、スポーツランド(ミニ遊園地)などが配置され、さまざまな楽しみ方ができます。

日本にすむ動物たち

井の頭自然文化園の一番の特徴は、日本産の動物の飼育展示に力を入れていることです。動物園側では、ヤクシカ・カモシカといった有蹄類、テン・アナグマなどの中型獣、野ネズミの仲間などの小型哺乳類、鳥類では日本固有種のヤマドリなど、日本に生息するさまざまな鳥たちを見ることができます。ツシマヤマネコは長崎県対馬だけに生息し、日本の野生動物ではもっとも絶滅が心配される種の一つです。国や他の動物園と協力しながら、飼育下での保全活動に取り組んでいます。ニホンリスを飼育する「リスの小径」は通り抜け型の展示ケージで、木を登り下りしたり、クルミをかじったりするリスの行動を間近に観察できます。



ツシマヤマネコ



コシロヤマドリ

水生動物園

水辺にすむ生き物たちは水生動物園に集められています。

水生動物園では淡水魚類を中心に、オオサンショウウオやカエルなどの両生類、カメなどの爬虫類、ゲンゴロウなどの水生昆虫といった水辺でくらすさまざまな生き物をガラス越しに見ることができます。かつて井の頭池にも生息していたと考えられるミヤコタナゴやムサシミヨといった絶滅危惧種の累代飼育も行っています。

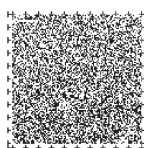
屋外ではオシドリなどのカモの仲間、サギやツルの仲間など、多様な水鳥を展示しています。園内には野生のカモ類やサギ類も飛来します。



オシドリ

井の頭自然文化園をもっと楽しむ

- ガイドツアー
動物解説員がテーマに沿ってご案内します。
- 飼育係のいきものガイド
飼育係が担当する動物を紹介します。
このほかにも年間を通じてさまざまな催し物を開催しています。定例イベントは都合により中止・変更する場合がありますので、詳細は公式ホームページ「東京ズーネット」でご確認ください。



開園年月日/昭和17年5月17日 開園面積/115,500㎡
主な展示生物/ニホンリス、ツシマヤマネコ、フェネック、テン、ヤマドリ、オシドリ、カイツブリ、ミヤコタナゴ
主な植物/ラクウショウ、西洋シャクナゲ、ツバキ
施設/資料館、彫刻館A・B館、アトリエ館、童心居、水生動物園



彫刻園・童心居

彫刻園には、長崎の『平和祈念像』の作者として知られる彫刻家・北村西望が制作活動の場としたアトリエ館があり、彫刻館A館、彫刻館B館、本園内に点在する野外彫刻と合わせて200点ほどの作品が公開されています。『平和祈念像』の原型は彫刻館A館で展示しています。

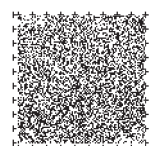
童心居は、吉祥寺に住み『赤い靴』や『しゃぼん玉』など数多くの童謡を作詞した詩人・野口雨情の書斎を移築したものです。句会や茶会等にご利用いただけます。(有料)



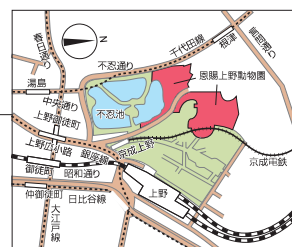
平和祈念像



童心居



02



おんしうえのどうぶつえん

恩賜上野動物園

指定管理者 ■ 公益財団法人 東京動物園協会

- 所在地 台東区
- 問合せ先 ☎03-3828-5171 (9:30~17:00) 恩賜上野動物園(〒110-8711 台東区上野公園9-83)
- 交通
 - 【表門】JR「上野」下車 徒歩5分
 - 【弁天門】京成線「京成上野」下車 徒歩4分 JR「上野」下車 徒歩5分 東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」下車 徒歩8分
 - 【池之端門】東京メトロ千代田線「根津」下車 徒歩5分
- 休園日 毎週月曜日(月曜日が祝日にあたる時は、その翌日) 年末年始(12月29日~翌年1月1日)
- 入園時間 午前9時30分~午後4時(閉園午後5時)
- 入園料 一般600円、中学生200円、65歳以上300円 ※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料
- 無料公開日 開園記念日(3月20日)、みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)



上野動物園は明治15年3月20日、日本で初めての動物園として誕生し、令和4年で開園から140年を迎えました。開園当時は、クマのほかは、サル、キツネ、タヌキ、水鳥や小鳥などに限られていた動物も現在ではジャイアントパンダやニシローランドゴリラをはじめ世界各地の動物を飼育・展示しています。

動物を観る

動物たちの健康で生き生きとした行動はとても魅力的です。野生動物ならではの能力が発揮される行動には、人々の興味を惹きつけるものがあります。ホッキョクグマが水中で見せるダイナミックな行動を間近に観察できたり、アイアイが長い中指を器用に使って餌を取る様子などはその一例です。飼育環境を本来の生息地環境に近づけるとともに、野生動物本来の能力や習性を発揮させ、それを人が観察できるよう展示に様々な工夫を凝らしています。



コビトカバ



ホッキョクグマ

すむ様子を見る

生息地の自然を模した環境をつくり、動物たちがすむ様子を見ることができます。東園の「ゴリラ・トラのすむ森」では、ニシローランドゴリラは緑の中に寝ころがり、またスマトラトラは、林の中を見え隠れしながら、悠然と歩いています。「ゾウのすむ森」では、アジアゾウが砂浴びや水浴びする姿を、「クマたちの丘」では、ヒグマが水遊びしたりする様子を見ることができます。ニホンツキノワグマには冬眠ブースも設けています。



ニシローランドゴリラ



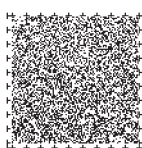
スマトラトラ



ニホンツキノワグマ



ツキノワグマモニター



開園年月日/明治15年3月20日 開園面積/145,173.03㎡

主な展示生物/ジャイアントパンダ、アジアゾウ、スマトラトラ、ニシローランドゴリラ、ホッキョクグマ、アイアイ、キリン

歴史的建造物

上野動物園では、平成28年に「動物医療センター」、平成30年に「子ども動物園すてっぴ」、令和元年度に「東園無料休憩所」令和2年度に「パンダのもり」がオープンするなど、新たな施設が建設される一方で、上野動物園の歴史を物語る建造物が、今でも園内に点在しています。1639（寛永16）年に建てられた国の重要文化財である旧寛永寺五重塔や、藤堂高虎が建て1878（明治11）年に再建された閑々亭、昭和9年頃に改修された旧正門があります。

上野動物園をもっと楽しむ

- 動物ガイド
動物解説員と一緒にじっくり動物を観察しながら園内をまわります。
- スポットガイド
飼育担当者やボランティアが動物ごとに詳しく解説します。
このほかにも年間を通じて様々な催し物を開催しています。
定例イベントは都合により中止・変更する場合がありますので、詳細は公式ホームページ「東京ズーネット」でご確認ください。

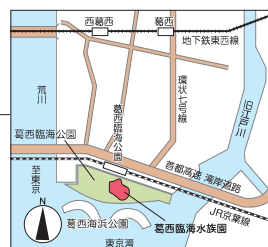


03

かさいりんかいすいぞくえん
葛西臨海水族園

指定管理者 ■公益財団法人 東京動物園協会

- 所在地 江戸川区
- 問合せ ☎03-3869-5152(9:30~17:00) 葛西臨海水族園(〒134-8587 江戸川区臨海町6-2-3)
- 交通 JR(京葉線・武蔵野線)「葛西臨海公園」下車 徒歩5分ほかバス利用可
東京水辺ライン「お台場海浜公園」より約50分「葛西臨海公園」下船 徒歩10分
駐車場(181台・有料・24時間)
- 休園日 毎週水曜日(水曜日が祝日にあたる時は、その翌日) 年末年始(12月29日~翌年1月1日)
- 入園時間 午前9時30分~午後4時(閉園午後5時)
- 入園料 一般700円、中学生250円、65歳以上350円 ※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料
- 無料公開日 開園記念日(10月10日)、みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)



葛西臨海水族園は、上野動物園開園100周年〔1982年(昭和57年)〕記念事業として計画されました。「海と人間の交流」の場となることを目指して1989年(平成元年)10月10日に開園しました。館内では約500種の魚や海鳥などを展示しています。開園から35年以上経過し、老朽化や国内外の社会状況の変化に対応するため、2028年(令和10年)の開業に向けて現在の水族園の隣接地に新たな水族園の整備をしています。

ドームと噴水池

本館は直径100mの円形の建物。入口は屋上にある、高さ21mのガラスのドーム内にあります。ドームをとりまく噴水池の水面は東京湾とつながっているように見えるので、雄大な景観を楽しめます。



屋上のガラスドーム

サンゴ礁の海

2022年7月にオープンした水量約200tの大型水槽で、サンゴのなかまやサンゴ礁にすむ色とりどりの魚たちを見ることができます。



大洋の航海者 マグロ

水量2,200tのドーナツ型の大水槽で、アカシモクザメやマイワシの群れ、ウシバナトビエイなどがダイナミックに泳ぐようすを見ることができます。アクアシアターではクロマグロの迫力ある大群泳をご覧になれます。



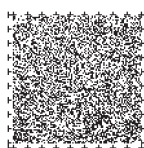
大水槽が一望できるアクアシアター

世界の海

太平洋をはじめ、インド洋、大西洋、さらに南極、北極など、世界中のさまざまな海の興味深い生物がご覧になれます。これらの生物はスタッフによる現地での採集や世界各国の水族館や関係機関の協力により集められました。

渚の生物

東京湾入口近くの岩礁帯を再現した水槽は、人工的に波を起こしたり、潮の干満を作りだすことができます。干潮時には浅瀬の岩場に潮だまりができます。磯の生物に直接触れることのできる「しおだまり」水槽では、海の生物の上手な見つけ方や観察の仕方をご紹介します。



開園年月日/平成元年10月10日 敷地面積/85,958.90㎡ 主な展示生物/クロマグロ、アカシモクザメ、メガネモチノウオ(ナボレオンフィッシュ)、ナーサリーフィッシュ、キンメダイ、コウゼン、ミズクラゲ、トビハゼ、フンボルトペンギン、フェアリーペンギン、エトピリカ
施設/ガラスドーム、情報資料室、レクチャールーム

東京の海

亜熱帯の小笠原諸島から、伊豆諸島を経て東京湾の干潟にいたる東京の広い海域の生物を展示しています。自然光の射し込む明るい室内では、魚たちを水槽の上からながめたり、飼育係の仕事の様子を見たりすることができます。

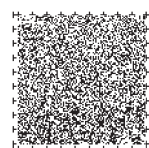
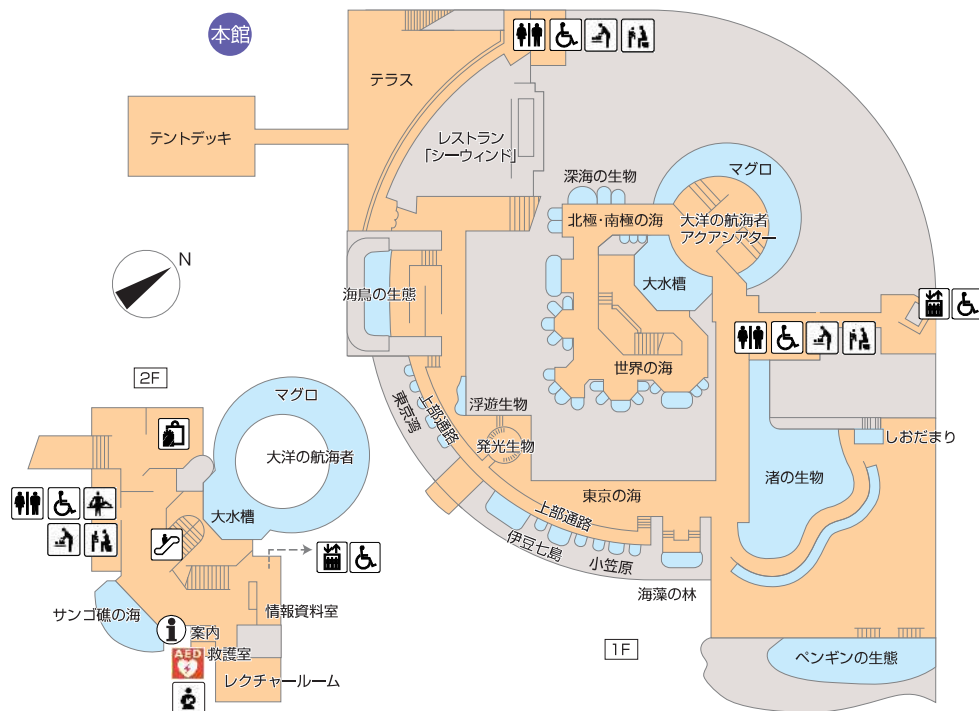
ペンギンの生態

屋外の展示場は波のあるプールと、大きな岩山からなり、ペンギンの動きを水中と陸上どちらからも観察できます。岩山には巣穴が作り付けられ、その中でフンボルトペンギンとフェアリーペンギンが繁殖しています。



葛西臨海水族園をもっと楽しむ

- ガイドツアー
解説スタッフがテーマに沿って生物の解説をしながら園内をまわります。
- スタッフトーク
飼育職員が展示生物の行動や生態、仕事の裏話などを楽しくお話しします。
- 情報資料室
生物に関する本や資料をご覧になれます。展示生物に関する質問も受け付けています。



04

た ま どう ぶ つ こ う え ん 多摩動物公園

指定管理者 ■ 公益財団法人 東京動物園協会

- 所在地 日野市
- 問合せ ☎042-591-1611 (9:30~17:00) 多摩動物公園(〒191-0042 日野市程久保7-1-1)
- 交通 京王線・多摩モノレール「多摩動物公園」下車
駐車場(約260台・有料・24時間)
- 休園日 毎週水曜日(水曜日が祝日にあたる時は、その翌日) 年末年始(12月29日~翌年1月1日)
- 入園時間 午前9時30分~午後4時(閉園午後5時)
- 入園料 一般600円、中学生200円、65歳以上300円 ※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料
- 無料公開日 開園記念日(5月5日)、みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)



豊かな自然が残る都立多摩丘陵自然公園区域内にあり、広さは上野動物園の約4倍です。飼育動物をより自然な姿でご覧いただくため、檻や柵を少なくした広い放飼場に動物たちを飼育展示しています。園内はアジア園、オーストラリア園、アフリカ園、昆虫園に分けられ、動物を生息地ごとに展示しています。また、コナラやクスギを主体とする雑木林が広がる園内には野鳥や昆虫なども多数生息しています。

バナナ」などがあります。「ライオン園」では、ライオンの群れをバスに乗って観覧することができる「ライオンバス」を運行しています。



ライオン園

アジア園

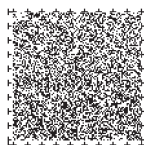
オランウータンのスカイウォークでは、高さ約15mのタワーに渡したワイヤーロープを、約150m先のオランウータンの森までボルネオオランウータンが綱渡りする様子を観察できます。「アジアの平原」ゾーンでは、タイリクオオカミや群れでくらすモウコノウマを展示しています。このほかにも、ユキヒョウ、レッサーパンダ、ターキン、インドサイなどの希少種を展示しています。



ボルネオオランウータン

アフリカ園

広々としたアフリカの風景を思わせるよう工夫しています。「チンパンジーの森」、「アフリカゾウ放飼場」、キリンが暮らす「サ



オーストラリア園

オーストラリアの有袋類を中心に展示しています。

コアラ館では人気のコアラが、屋外の放飼場ではカンガルーの仲間が展示されています。また、タスマニアデビルは、日本で唯一の展示となります。



タスマニアデビル

昆虫園

昆虫生態園ではウォークスルー型の大温室で一年を通して飛び交うチョウを身近に観察することができます。昆虫園本館には国内産水生昆虫、外国産のハキリアリ、グローワームの発光展示のほか、標本・模型の展示や昆虫を手にとって観察できるふれあいコーナーがあります。



オオゴマダラ

開園年月日/昭和33年5月5日 開園面積/602,513.37㎡

主な展示生物/アジアゾウ、ボルネオオランウータン、ターキン、モウコノウマ、ニホンコウノトリ、アフリカゾウ、ライオン、キリン、ヨーロッパフラミンゴ、コアラ、アカカンガルー、タスマニアデビル、オオゴマダラ、ハキリアリ、グローワーム 施設/シャトルバス(無料)

多摩動物公園をもっと楽しむ

●ガイドツアー

動物解説員と一緒にじっくり動物を観察しながら園内をまわります。

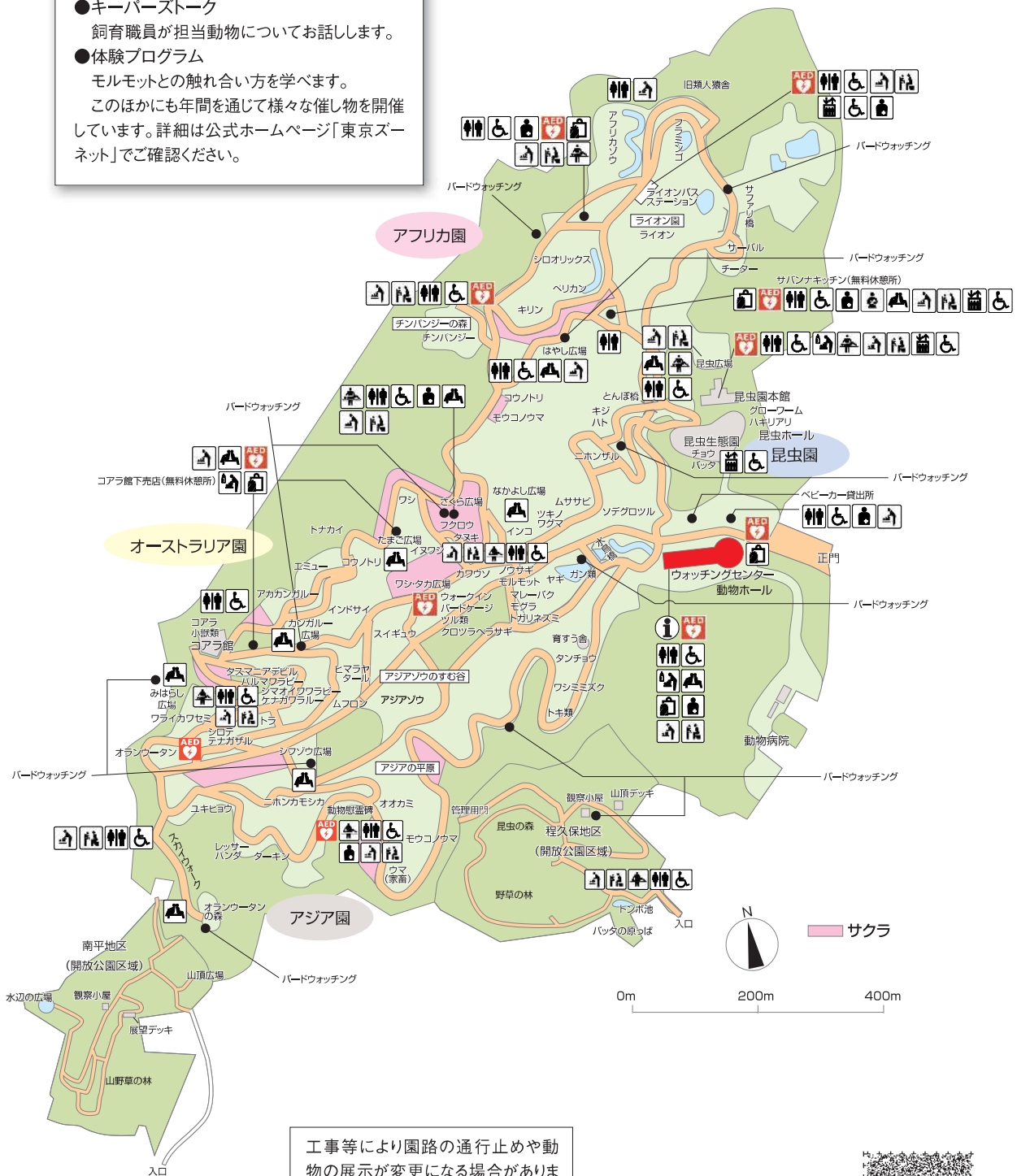
●キーパーズトーク

飼育職員が担当動物についてお話しします。

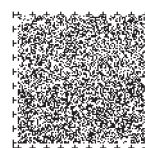
●体験プログラム

モルモットとの触れ合い方を学べます。

このほかにも年間を通じて様々な催し物を開催しています。詳細は公式ホームページ「東京ズーネット」でご確認ください。



工事等により園路の通行止めや動物の展示が変更になる場合がありますので、詳細はお問合せください。

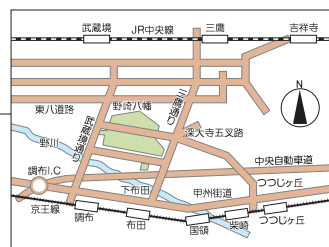


05

じんだいしょくぶつこうえん
神代植物公園

指定管理者 ■公益財団法人 東京都公園協会

- 所在地 調布市
- 問合せ ☎042-483-2300(9:00~17:00)
神代植物公園サービスセンター(〒182-0017 調布市深大寺元町5-31-10)
☎042-485-1210(9:30~17:00)
植物多様性センター(〒182-0011 調布市深大寺北町1-4-6)
- 交通 京王線「つつじヶ丘」から京王バス「神代植物公園」下車すぐ、JR中央線「三鷹」・「吉祥寺」から小田急バス「神代植物公園前」下車徒歩1分、京王線「調布」から小田急バス「神代植物公園前」下車徒歩2分
駐車場(第一 228台、第二 100台・有料・24時間)
- 休園日 毎週月曜日(月曜日が祝日にあたる時は、その翌日) 年末年始(12月29日~翌年1月1日)
- 入園時間 午前9時30分~午後4時(閉園午後5時)
- 入園料 一般・大人500円、中学生200円、65歳以上250円 ※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料
- 無料公開日 みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)



武蔵野の面影が残る園内で、四季を通じて草木の姿や花の美しさを味わうことができます。この公園はもと、東京の街路樹などを育てるための苗圃でしたが、戦後、神代緑地として公開されたあと、昭和36年に名称も神代植物公園と改め、都内唯一の植物公園として開園しました。

現在、約4,800種類、10万本・株の植物が見られます。園内は、ばら園、つつじ園、うめ園、はぎ園をはじめ、植物の種類ごとに約30ブロックに分けており、景色を眺めながら植物の知識を得ることができるようになっています。また、江戸の園芸植物の品種を保存し、植物・園芸に関する催しや展示会を開いて、都民の緑に対する関心を高めるのに一役買っています。次世代に植物の多様性を継承するため、様々な取り組みも行っています。

神代植物公園の花ごよみ

- | | |
|--------|--|
| 1~3月 | クリスマスローズ、ツバキ、ロウバイ、ウメ、マンサク、フクジュソウ、サンシュユ、アーモンド |
| 4~6月 | ソメイヨシノ、シダレザクラ、サトザクラ、ハナモモ、コブシ、ヒュウガミズキ、ハナミズキ、ボタン、シャクヤク、フジ、ハンカチノキ、セイヨウシャクナゲ、ユリノキ、スイレン、バラ、ツツジ、サツキ、アジサイ |
| 7~9月 | ハス、ムクゲ、オミナエシ、スイフヨウ、ハギ、フヨウ・スイフヨウ、サルスベリ、キンモクセイ、ネムノキ、パンパスグラス、パラグアイオニバス、ヒガンバナ |
| 10~12月 | バラ、ダリア、サザンカ、キク、カエデ(紅葉)、雑木類(果実と紅葉) |

ばら園

平成21年に「世界バラ会連合優秀庭園賞」を受賞したばら園は、シンメトリックに設計された沈床式の庭園に約400種類5,200株のバラが植えられています。見頃は春と秋の2回。春は5月中旬、秋は四季咲きのバラが10月中旬に咲き揃います。このほか、野生種・オールドローズ園では原種や著名な古品種が、国際ばらコンクール花壇では審査中の新品種がご覧いただけます。

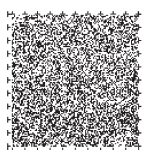


大温室

平成28年にリニューアルオープンした大温室では、これまで展示していた熱帯・亜熱帯の植物、ラン、ペゴニア、熱帯スイレンのコレクション展示に加え、新たに世界自然遺産の小笠原諸島の植物、サボテン・多肉植物などの乾燥地の植物などのコレクションの展示コーナーを設けました。世界の珍しい植物、変わった生態をもつ植物、色鮮やかな花々を咲かせる植物が一年中楽しめます。



大温室(ペゴニア室)



開園年月日/昭和32年4月1日(神代緑地)、昭和36年10月20日(神代植物公園) 開園面積/514,039.70㎡(一部は国有地の無償貸付を受けています) 樹木数/約4800種類 10万本・株 芝生:13,100㎡ 主な植物/サクラ類・ウメ・ツバキ・サザンカ・ハナモモ・ハナミズキ・バラ・ツツジ類・ボタン・スイレン・ハギ・ペゴニア・コナラ・ケヤキ・ダリア・ムクゲ・シャクヤク・シャクナゲ・山野草・温室植物(熱帯花木・ラン・ペゴニア・熱帯スイレン・小笠原植物・乾燥地植物) 催物/各種植物の展示会、講座、イベント 施設/大温室、水生植物園、展示室、植物多様性センター、集会室、ドッグラン、調布市総合体育館(調布市営 ☎042-481-6221)

植物多様性センター

東京に残された貴重な植物や環境を次世代へと継承するため、「絶滅危惧植物の保護・増殖」「絶滅危惧植物の情報収集・発信」「植物多様性に関する教育・普及」に取り組んでいます。植物の様々な情報を提供する「情報館」と、奥多摩、武蔵野、伊豆諸島のゾーンに分けて植物を屋外展示する「学習園」があります。野生植物の生きる知恵や自然の成り立ち、絶滅危惧種等について学べます。



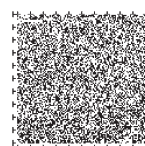
情報館



はなしょうぶ園

水生植物園

深大寺南側には深大寺周辺の湧水から流れてくる水が集まって湿地帯になっている水生植物園があり、高台の区域は「国指定史跡深大寺城跡」に指定されています。池と水路にはカキツバタやコウホネ、アサザ、ハンゲショウ、ミソハギなどの水生植物や水辺の植物が見られるほか、6月は、はなしょうぶ園で約50品種1500株の江戸系花菖蒲が楽しめます。



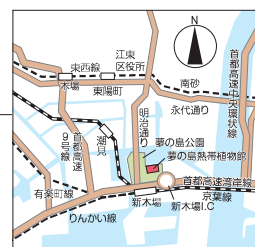
06

ゆめしまねったいしょくぶつかん

夢の島熱帯植物館

指定管理者 ■ アメニス夢の島グループ

- 所在地 江東区
- 問合せ ☎03-3522-0281 (8:30~17:00) 夢の島熱帯植物館管理事務所 (〒136-0081 江東区夢の島2-1-2)
- 交通 JR京葉線・東京メトロ有楽町線・りんかい線「新木場」下車 徒歩15分
東京メトロ東西線「東陽町」から都営バス「夢の島」下車 徒歩7分
駐車場(第一 123台、第二 20台・有料・24時間)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日にあたる時は、その翌日) 年末年始(12月29日~翌年1月3日)
- 入館時間 午前9時30分~午後4時(閉館午後5時)
- 入館料 一般250円、中学生100円、65歳以上120円 ※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料
- 無料公開日 みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)



夢の島熱帯植物館は、都民が楽しみながら熱帯・亜熱帯の植物について学び、親しめる場所として昭和63年11月に開館しました。都立夢の島公園(約43ha)の一角に置かれ、ドーム型の大温室を中心に映像ホール、企画展示室、イベントホールなどで構成される施設です。

館内にはおよそ1,000種類の熱帯・亜熱帯植物があり、一年を通して、色とりどりの花や果実など特有の景観を楽しむことができます。

大温室

三つのドームが連なった造りになっており、外から眺めると、まるで帆船の帆のように見えます。

大温室の面積は1,500m²、ドームの最も高い位置では28mあります。温室内は、冬でも15℃以上に保たれるよう、コンピュータ制御されており、その熱源は隣接する新江東清掃工場のゴミ焼却熱となっています。

熱帯・亜熱帯の雰囲気を感じながら、散策できるようになっています。



Aドーム



Bドーム

〈Aドーム〉木生シダと水辺の植物

滝の流れ落ちる池の水辺には、マングローブが生い茂り、水面には、熱帯性スイレンが咲いています。木生シダが大きな葉を広げ、サガリバナやオヒルギをはじめとする植物が熱帯の水辺を再現しています。

〈Bドーム〉ヤシと人里の植物

天井に届くほど高く伸びたダイオウヤシとユスラヤシは、開館当時から植えられて成長したものです。ニッパヤシの葉で屋根をふいた家のまわりには、バナナ、ゴレンシ、カカオなどの作物とともにトーチジンジャー、オオゴチョウをはじめ色鮮やかな花が咲き誇ります。

〈Cドーム〉オウギバショウと小笠原の植物

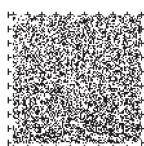
ここには、タコノキ、ノヤシ、ムニンヒメツバキなど東京の亜熱帯・小笠原諸島固有の貴重な植物が集められています。そして最後は、マダガスカル原産のオウギバショウの巨大な葉が茂り、熱帯の景観を締めくくります。

食虫植物温室

世界各地に分布する様々な食虫植物を展示し、虫を捕まえる仕組みをわかりやすく解説しています。



食虫温室



開館年月日/昭和63年11月19日 開館面積/20,000.00m² 種類/約1,000種
主な植物/ハイビスカス・ラン類・オオオニバス・熱帯スイレン・ヘリコニア類・ヒスイカズラ・ガジュマル・ゾウタケ・デイゴ・オリブ・ヒカゲヘゴ・ヤシ類・バナナ・
カカオ・タコノキ・ムニンノボタン・オウギバショウ・食虫植物・樹齢800年のラワンの板根(標本)
施設/映像ホール、大温室、食虫植物温室、企画展示室、イベントホール、喫茶室、売店、ハーブ園、熱帯畑、壁面花壇



ガラスのドームは遠くからでも目を引く

映像ホール

世界各地で現地ロケをした熱帯の風景や風俗などのオリジナル映画を上映します。

企画展示室

開館以来、各種映像装置を使用し、様々な情報を提供してきた情報コーナーは、平成30年7月に熱帯の植物に関する掲示物の展示や各特別展に使用できる企画展示室に生まれ変わりました。

イベントホール

植物ははるか昔から人間の生活、文化と密接な関係をもってきました。熱帯植物と人間のかかわりをわかりやすく紹介する企画展示コーナーです。

ハーブ園・熱帯畑

日本のハーブ園の中でも歴史が古く、約100種類のハーブが植えられ、各種イベントにも利用されています。

